

もくじ

- 2 ロシアの軍事侵攻に抗議する決議
- 3 3月定例会概要・議案審議質疑
- 6 一般質問
- 11 臨時会概要
- 12 予算特別委員会
- 15 常任委員会等の活動報告
- 16 ちょっと一言、編集後記ほか

「挺子(てこ)」の原理だよね〜。
ぽかぽかの陽光を浴びて心が弾みます
(材木町公園。後ろの建物は市民の家)

はなまき市議会だより

花の風

第70号

令和4年5月1日

議案審議

副市長に松田英基氏



松田英基 副市長

令和4年第1回花巻市議会定例会は2月25日から3月16日までの20日間の日程で開かれました。

初日の本会議では、市長施政方針および教育長演説が行われ、提出議案についての説明がなされたほか、令和4年度花巻市予算は、議長を除く全議員で特別委員会を設置し、審査することとしました。

3月1日から3日までは、一般質問に議員14人が登壇し、市政について質問しました。

3月4日には議案審議を行い、全議案を原案のとおり可決したほか、花巻市教育委員の任命については、菅谷眞喜子氏(再任)、衣更着潤氏(再任)をそれぞれ全会一致で同意しました。また、議員発議により、「ロシアによるウクライナ軍事侵攻に断固抗議する決議を求める動議が出され、審議の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。

3月9日から11日までは予算特別委員会が開かれ、令和4年度花巻市一般会計予算(歳入歳出総額481億6466万円)および各特別会計予算等について原案のとおり可決すべきものと決し、最終日の本会議で可決しました。また、定例会最終日には、花巻市副市長の選任に關し同意を求めることについて追加提案され、3月31日をもって退任する藤原忠雅副市長の後任に、松田英基氏を選任することについて全会一致で同意しました。

主な可決議案や質疑は、次のとおりです。

花巻市認知症高齢者グループホーム条例の一部を改正する条例

可決

要旨・・・介護保険法の一部改正に伴い、認知症高齢者グループホームの利用料金のうち、介護費用自己負担金の算定基準額について、所要の改正をするもの。

質疑

○質問・・・改正による利用者の負担増はないか。月々の利用額の上限を超えた場合、高額介護サービス費の支給に変わりはないか伺う。

答弁・・・現在利用している方の負担増はない。また、高額介護サービス費の支給に変更はない。

ロシアによるウクライナ軍事侵攻に断固抗議する決議を可決



賛成討論をする羽山るみ子議員



議員発議案の説明をする若柳良明議員

ロシアによるウクライナ軍事侵攻に断固抗議する決議

ロシアは2022年2月24日、ウクライナへ軍事侵攻を行った。

これは、国際社会の平和と安全を著しく損なう、断じて容認することができない暴挙である。武力を背景とした現状変更への行為は明白な国際法違反であり、国際秩序の根幹を揺るがすもので看過することができない。

よって、ロシアに対し、ウクライナへの軍による攻撃や主権侵害、核兵器の使用を示唆する発言に断固として抗議するとともに、軍を即時無条件で撤退させるよう強く求める。

いま、緊急に求められるのは、ウクライナの人々の命と主権を守ることである。

花巻市議会は、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に強く反対する。

以上、決議する。

令和4年3月4日

岩手県花巻市議会

花巻市議会は3月4日、令和4年第1回花巻市議会定例会において、若柳良明議員、横田忍議員、佐藤峰樹議員、羽山るみ子議員、藤井幸介議員、照井明子議員が連名でロシアによるウクライナ軍事侵攻に断固抗議する決議案を発議し、これを直ちに審議。全会一致で可決しました。

この決議は、ロシアの武力によるウクライナへの侵攻に対し強く抗議するとともにロシア軍のウクライナからの即時撤退と、ウクライナの人々の命と主権を守ることが強く求められるものです。

また、ウクライナ危機への人道的支援や救援活動を支援するため、在日ウクライナ大使館に議員全員で寄付を行いました。

可決

花巻市博物館条例の一部を改正する条例

要旨…平成27年4月1日から休館している東和ふるさと歴史資料館について、建物の構造上、耐震等の補強工事が困難であることに加え、老朽化が著しいため、今後の利活用が見込めないことから廃止するもの。

- 質疑 ○質問…歴史的資料は成島振興センターおよび田瀬振興センターに収蔵するということが、今後どのような展示方法を考えているのか伺う。また、東和ふるさと歴史資料館の跡地利用について伺う。
- 答弁…2つの振興センターに収蔵している資料は展示を行わず、今後整理した上で調査研究等に使用したいと考えている。跡地利用については、地域の方の意見を聞き検討したい。

可決

令和3年度花巻市一般会計補正予算(第17号)

要旨…歳入歳出予算にそれぞれ13億6,423万6千円を減額し歳入歳出総額を567億5,644万6千円とするもの。決算見込みに基づく過不足額の整理等に係る歳入歳出予算の補正など。

- 質疑 ○質問…有害鳥獣被害対策事業について、狩猟後に処理し捨ててしまうとクマ等への影響も考えられる。この点について、猟友会との協議は行われているのか伺う。
- 答弁…狩猟後は、駆除した方が責任をもって処理することが原則となっている。クマ等の餌付けにならないよう、今後も猟友会と協議していく。

可決

令和3年度花巻市介護保険特別会計補正予算(第2号)

要旨…歳入歳出予算にそれぞれ15万9千円を追加し歳入歳出総額を108億5,141万1千円とするもの。決算見込みに基づく保険給付費の組替え等に係る歳入歳出予算の補正など。

- 質疑 ○質問…介護給付費準備基金積立金の総額について伺う。
- 答弁…令和2年度末時点で、9億666万4千円となっている。
- 質問…介護職員の処遇改善について、今後の動向を伺う。
- 答弁…令和4年9月までは国からの補助金で対応する。10月以降については、介護報酬が改定となり介護給付費での対応となる。なお、第8期介護保険事業計画期間中の保険料改定は行わない方向で進めているが、詳細について国から示されていないことから、動向を見ながら対応していきたい。

意見書を提出

選択的夫婦別姓制度について法制化を求める意見書

現行の民法では、婚姻時に男女どちらかが一方の姓に変更しなければならず、同姓、別姓を選択する自由はありません。本来どちらの姓を選択してもよいにもかかわらず、実際には9割以上の女性が夫の姓に変更しており、男女平等の観点からも問題視されています。また、結婚に際して夫婦同姓を法律で強制している国は、世界で日本だけです。別姓で結婚したくてもできない、さらに事実婚では子供の婚外子問題、相続契約、税金の優遇など様々な公的サービスが受けられないなど二重の不利が生じます。

選択的夫婦別姓制度は「選択的」という言葉の示すとおり、家族で同じ姓のほうがいいと感じると同姓を希望するカップル、別姓を望むカップルそれぞれに対し、選択の自由と多様性を認める制度で

あります。女性・男性どちらも改姓による不利益を被ることなく、老後も法的な家族として支え合える誰もが生きやすい社会を実現するために速やかに民法を改正し、選択的夫婦別姓制度を法制化することを求めます。

令和4年度の水田活用の直接支払交付金の見直しに対する意見書

国が本年1月に示した令和4年度の水田活用の直接支払交付金の見直しは、国是でもある主要農産物の食料自給率向上に影響を与えかねない問題を是らんでいる内容と言わざるを得ません。このことから、令和4年度の水田活用の直接支払交付金の見直しについては、次の事項について確実な実現を図られるよう強く求めます。

1 制度の見直しにより交付対象水田から除外される農地が生ずることは、農地の維持や農業水利施設の管理が困難となることが想定され、結果的に国土の荒廃にもつながるおそれがあるこ

とから、実施に当たっては、離農者及び耕作放棄地の増加を招くことのないよう、地域の実情に合った制度内容とすること。

2 国土保全と農地及び集落維持を図るため、交付対象水田を畑地化した場合にあっても、土地利用型の営農形態にあっても、農業生産者の所得が減少することなく、意欲を持って生産活動に取り組める新たな支援措置を速やかに講ずること。

3 水田を借用して自給飼料の確保に努めている畜産農家が多い中において、今回の多年生作物の扱いの見直しによって交付金が削減された場合には賃借料の負担増が見込まれ、畜産農家が農地を返却することや、経営圧迫による廃業も懸念され、結果的に耕作放棄地の増加にもつながることから、交付金の削減に対する応分の支援を加味した内容とすること。

※意見書全文は市ホームページに掲載しています

賛否が分かれた議案等の審議結果

議案6	花巻市個人情報保護条例の一部を改正する条例
請願11	ろうあ者に係る花巻市の関係規則及び要綱の改正を求めることについて（以下の2項目について項目ごとに採決）
項目1	花巻市ろうあ者等相談員設置規則第2条第1項を「相談員は、全国統一試験において合格した手話通訳者、または手話通訳士試験に合格した手話通訳士とし、ろうあ者等の福祉に関し、理解と熱意を有する者のうちから市長が任命する」に改めること
項目2	花巻市意思疎通支援事業実施要綱第2条第1項第1号中、「市町村又は都道府県で実施する手話奉仕員養成研修事業において手話奉仕員として登録された者」の削除を求めること

会派名	市民クラブ				明和会				花巻クラブ				平和環境市民クラブ		日本共産党花巻市議会議員団		会派に所属しない		審議結果							
議員名	横田忍	佐藤現	伊藤盛幸	高橋修	瀬川義光	内館桂	鎌田幸也	佐藤峰樹	盛岡耕市	藤原伸	伊藤源康	羽山み子	佐藤明	本館憲一	近村晴男	照井省三	若柳良明	阿部一男		久保田彰孝	照井明子	櫻井肇	菅原ゆかり	藤井幸介	大原健	
議案6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	可決	
請願11	項目1	●	●	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	●	●	●	不採択
	項目2	●	●	○	○	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	●	●	●	不採択

○は賛成、●は反対。議長は表決に加わりません。

一般質問

3月定例会では、14人の議員が登壇し、下記の内容について一般質問を行いました。

令和4年第1回花巻市議会定例会 一般質問一覧（登壇順）

久保田彰孝 議員 (日本共産党花巻市議会議員団)	①農業政策について ②気候危機について ③省エネ住宅の普及について
伊藤 盛幸 議員 (市民クラブ)	①新花巻図書館の整備について ②災害公営住宅について ③市有地の活用について
佐藤 峰樹 議員 (明 和 会)	①小中学校における不登校児童生徒について ②矢沢地区の交通対策について ③地域づくりについて
羽山るみ子 議員 (花巻クラブ)	①市民参画について ②窓口業務について ③花南地区における産業団地整備について
若柳 良明 議員 (平和環境社民クラブ)	①獣害対策について ②ヤングケアラーについて ③市職員の給料について ④職員体制について
照井 明子 議員 (日本共産党花巻市議会議員団)	①花巻市公共施設マネジメント計画について ②ヤングケアラー支援について ③除排雪等支援事業について
内館 桂 議員 (市民クラブ)	①市庁舎の建設について ②花巻空港について ③株式会社とうわ地域資源開発公社について ④新規就農者への支援について
照井 省三 議員 (平和環境社民クラブ)	①花巻市長選挙について ②市長施政方針について ③新型コロナウイルス感染症対策について
櫻井 肇 議員 (日本共産党花巻市議会議員団)	①第3期上田市政の運営について ②政治姿勢について ③市長施政方針について
高橋 修 議員 (市民クラブ)	①中山間地域の農地について ②花南地区の土地利用について ③産後ケア事業について
阿部 一男 議員 (平和環境社民クラブ)	①次期総合計画について ②地域医療について ③農業問題について
菅原ゆかり 議員 (会派に所属しない)	①網膜色素変性症患者への支援について ②A E Dの活用推進について ③公共トイレ協力店について
藤井 幸介 議員 (会派に所属しない)	①人口減少対策について
大原 健 議員 (会派に所属しない)	①市長施政方針について ②投票率の向上について ③除雪について ④次世代自動車等の購入補助制度について

不登校対策

Q 佐藤 峰樹 議員
過去3年間の推移をみると、小中学校の不登校児童生徒は増加傾向にある。この現状をどのように分析し、支援を考えているのか伺う。

A 教育長
要因として、生活リズムの乱れや親子の関わり、友人関係を巡る問題、学習意欲の低下等の学業に関するものが増えている傾向にある。不登校支援を行う一方で、未然に防ぐことも大きな課題と捉えている。教育委員会としては、未然に防止する取り組みを推進し、スクールソーシャルワーカー等の配置、県教委と連携したスクールカウンセラーによる対応など、児童生徒に寄り添い支援する体制を強化していく。

次期総合計画

Q 櫻井 肇 議員
総合計画策定室を新設し、コンサルタントを活用することだが、委託する業務の内容と起用の理由について伺う。

A 市長
令和4年度から新たな総合計画の策定を進めるに当たり、コンサルタントを活用することで、外部のマンパワーの活用やノウハウを参考にでき、専門的な視点から適切な助言をいただくことができる。プロポーザル選定委員会を令和3年度中に設置し、応募業者からの企画提案書提出をはじめ、審査や評価を経て契約する見通しである。

期日前投票

Q 大原 健 議員
直近2つの選挙の期日前投票の実績と今後の取り組みについて伺う。

A 選挙管理委員会委員長
令和3年10月執行の衆議院議員総選挙は全体投票率61.79%で期日前投票率は38.46%、令和4年1月執行の花巻市長選挙は全体投票率54.6%で期日前投票率は32.34%であった。平成28年7月執行の選挙からイートイン型投票所を移して以来、全体投票率の約3割の方が期日前投票を行っていることから、今後も現状を維持し、投票率の向上につなげたい。

花巻市長選挙

Q 櫻井 肇 議員
花巻市長選挙において、上田市長は相手候補に1884票の僅差であった。市長選挙の結果をどう受け止めているのか伺う。

A 市長
新花巻図書館整備やJR花巻駅東西自由通路（駅橋上化）整備などの進め方に対する批判があったと理解している。説明

職員の給与改善

Q 若柳良明 議員
市職員給与のラスパイルズ指数、県内の市および市町村の順位、本市職員の賃金実態をどう捉え改善していくのか伺う。

A 市長
職員の令和3年ラスパイルズ指数は95.8で県内14市のうち12番目、県内33市町村では20番目である。平成27年度以降、大卒や短大卒の初任給の改善、級別標準職務表の改善等を行い、令和3年度までにラスパイルズ指数を4.5ポイントアップしてきた。改善計画については、県内14市の中位

ふるさと住民票

Q 藤井幸介 議員
関係人口拡大で移住定住者の増加を図ることを目的として、花巻市出身者やゆかりのある方にふるさと住民票制度を導入する考えはないか伺う。

A 市長
制度の導入は全国で自治体となっており、同様の制度として遠野市および八幡平市の取り組みがある。現時点で、ふるさと住民票制度を導入する考えはないものの、関係人口の拡大には重要と認識していることから、引き続き「まきまき花巻」等で市の魅力を発信しながら、ふるさと住民票の導入について検討したい。

市民参画

Q 羽山るみ子 議員

市で現在実施しているイベント等について、民間の企画力やアイデアを生かす市民サービス協働化提案制度や民間に委託するような制度の導入について伺う。

A 市長

現時点において、各種団体等から提案を受けそれを審査した上で事業を委託する協働の取り組みは行っていないが、市民と市との協働指針に基づいた協働のまちづくりを進めている。どのような制度が市民団体等の活動の活性化など期待できるか、その効果を検討していく必要がある。

婚活支援

Q 藤井幸介 議員

婚活支援は人口減少対策への重要なテーマとな

るが、市のこれまでの取り組みと今後の取り組みについて伺う。

A 市長

市内の婚活支援団体等が行うマッチング事業で婚姻が成立した場合、1件につき3万円を交付し、これまで15件交付した。また、国の結婚新生活支援として30万円から60万円を対象となる方に補助した。今後は、iサポ岩手が導入したAIを活用した婚活支援を広報等で周知するほか、市内の結婚支援活動団体等と連携して支援に努めていく。

周産期医療

Q 大原 健 議員

過去2年の出生数および今後の周産期医療のビジョンについて伺う。

A 市長

市内の出生数は、令和元年度は市内医療機関が261人で52・4%、岩手

県立中部病院が85人で17・1%、令和2年度は市内医療機関が218人で44・2%、岩手県立中部病院が71人で14・4%であった。このように、市内医療機関で出産された方が一番多い状況であり、産科医師確保支援事業を通じて、出産を取り扱う機能の維持拡充に努めた

産後ケア事業

Q 高橋 修 議員

核家族化が進み、産後のストレスと不安が増加している。日中のケアを受けられない利用者がいることから、宿泊型産後ケアセンターが必要と思われるが新設する考えはないか伺う。

A 市長

夜間における育児不安の声もある。産後ケア事業と産前産後サポート事業を委託している市内NPO法人まんまるママい

わてとともに、将来的な宿泊を伴うサービスの実現に向け検討を進めていく。



NPO法人「まんまるママいわて」が運営する産前産後ケアハウス

新型コロナウイルス感染症対策

Q 照井省三 議員

小中学校や保育園等がクラスターで臨時休業した際、保護者が仕事を休んだ場合の支援について伺う。

A 市長

国は、新型コロナウイルスで小中学校等が臨時休業し、仕事を休んだ保護者の支援策として、有給休暇を取得させた事業

主に対し助成金を支給している。事業主が有給休暇を認めない場合は、岩手労働局の指導がある。市でも事業主に対し働きかけていく。また、個人で仕事をしている保護者にも小学校休業等対応支援金を支給している。

生活保護

Q 照井明子 議員

国の生活保護実施要領には臨時一般生活費に除雪費が含まれている。市が除雪費を対象としない理由を伺う。

A 市長

平成27年10月から生活保護の生活一時扶助として除雪費の支給が可能となり、本県の全域が対象となつている。また、住宅一時扶助として雪囲い、雪下ろし等の経費も支給対象となるが、市での支給事例はない。今後は除雪費も対象となることの周知に努めていく。

網膜色素変性症

Q 菅原ゆかり 議員

網膜色素変性症の患者へ、障がい者等日常生活用具の補助対象に暗所視支援眼鏡を追加する考えはないか伺う。

A 市長

当該用具の使用による利用者の利便性や給付実績の状況等、すでに給付対象としている市町村や当該メーカーからさらに情報を集めるとともに、市内の視覚障がい者団体の方からご意見を伺いながら、給付品目に追加することについて前向きに検討していく。

公共トイレ協力店

Q 菅原ゆかり 議員

公共トイレ協力店を民間企業に募集する考えはないか伺う。

A 市長

県の、いわて木づかい住宅普及促進事業および住みたい岩手の家づくり

省エネ住宅

Q 久保田彰孝 議員

国は脱炭素社会に向けて住宅および建築物の対策をまとめた。市は省エネ住宅の普及促進事業を行う考えはないか伺う。

A 市長

県の、いわて木づかい住宅普及促進事業および住みたい岩手の家づくり

新花巻図書館

Q 伊藤盛幸 議員

建設場所について「市民のコンセンサスを得て」としているが、具体



県のいわて木づかい住宅普及促進事業のパンフレット（令和3年度版）

促進事業を合わせると新築住宅では最大100万円の補助が受けられる制度がある。国や県の補助事業が有効に活用されていることから、現時点で市の補助事業を実施する考えはないが、地球温暖化防止に向けた市民の意識啓発を引き続き進めるとともに、国や県の動向を注視し、必要に応じて新たな補助制度の構築を検討していきたい。

的な動きが見えない。どのように取り組むのか伺う。

A 市長

新花巻図書館整備基本計画試案検討会議で検討し、一定の方向性が示された場合、それについて市民の意見を伺いたい。示されなかった場合は、新たに市民の意見を伺う仕組みも検討し、皆様の意見を聴きながら建設場所の選定を進め、新しい図書館の整備を早期に実現したい。

JR花巻駅東西自由通路（駅橋上化）

Q 照井省三 議員

JR花巻駅東西自由通路（駅橋上化）整備に係るJR東日本や民間コンサルの検討の進捗状況および見通しについて伺う。

A 市長

JR東日本では、整備に必要な土木関係、建築

庁舎新築整備

Q 内館 桂 議員

合併後の新たなまちづくりへの市民意識を高めるため、老朽化する庁舎の新築整備を望む市民の声がある。整備への所見を伺う。

A 市長

専門家によると10年以上は問題ないと聞いている。今後、コンクリート補強工事等を行い、30年程度使用することを想定している。庁舎整備は今からではなく、実際に改築するときに在り方を考えるべきである。

花巻空港利用促進

Q 内館 桂 議員

羽田便就航の見通しについて伺う。また、航空機整備工場および航空整備士養成の専門学校誘致への所見を伺う。

A 市長

令和2年1月、花巻・北上・奥州・一関・釜石・大船渡商工会議所会員企業等にアンケートを実施したところ、全体の64%が羽田便を利用しないとの回答であり、実現は難しいと思われる。また、県として航空整備工場および航空整備士の専門学校誘致を検討したことがなく、現時点でもそのような構想はないと聞いている。

交通対策

Q 佐藤峰樹 議員

矢沢地区を対象に実施した「日常の外出や公共

交通に関するアンケート調査」を踏まえ、今後の移動手段をどのように考えているのか伺う。

A 市長

停留所から離れている交通不便地域があり、アンケート調査による移動実態や公共交通の利用実態の整理、今後予定しているタクシー事業者からのヒアリング調査を踏まえ、移動手段の確保に向けた方向性を検討している。矢沢・幸田・高松・高木・東十二丁目など、区域ごとに検討する必要があると考えている。

産業団地

Q 羽山るみ子 議員

花巻地区の産業団地整備構想の今後の見通しと北上市との行政連携についての考えを伺う。

A 市長

市内に進出を希望する企業の要望に応えるた

め、費用面で優位性があり速やかな整備が期待できる中央部約12ヘクタールを市独自の産業団地として先行開発する。最短期間で令和7年度下半期以降の分譲が可能と見込んでいる。北上市をはじめとする関係自治体と連携が可能な部分については積極的に取り組んでいく。

大谷地アパートの跡地活用

Q 伊藤盛幸 議員

大谷地アパート解体の実施設計が令和元年度および令和2年度に行われたが、今後の工程および跡地活用について伺う。

A 市長

解体工事の発注が可能状況にあるが、跡地に国有地が存在している。民間への売却を含めた跡地活用には国有地を取得する必要があるため、その作業を進めたい。市で利活用の計画がないた

水田活用交付金

Q 久保田彰孝 議員

国の水田活用の直接支払交付金の見直しについて、市の見解を伺う。

A 市長

水田を賃借し、規模拡大してきた経営体が交付対象から外れた農地を開放することで、荒廃農地が増加してしまうことが懸念される。今後、5年間一度も水稲作付しない農地は交付金の交付対象水田としない国の方針に対し、花巻市が中心となり岩手県市長会の要望として県選出国会議員をはじめ、政府および政党に対し強く要望した。今後も引き続き要望していく。

鳥獣被害対策

Q 若柳良明 議員

鳥獣被害対策の課題と今後の進め方について伺う。



増加するイノシシの農作物被害対策が急務

A 市長

特にイノシシの個体増に対し駆除が追い付かないことや、花巻市鳥獣被害対策実施隊員の高齢化が課題。今後は、電気柵設置補助のほか、有害鳥獣対策アドバイザーや有害鳥獣対策支援員によるパトロール強化、国の鳥獣被害防止総合対策交付金への市単独の補助額のかさ上げ交付等に取り組んでいきたい。かさ上げの額は、ニホンジカ1頭当たり5000円から6000円、イノシシは6000円から7000円に増額する予定である。

中山間地域農業

Q 高橋 修 議員

非農地化に関する手続きおよび水田活用の直接支払交付金の見直しについて所見を伺う。

A 農業委員会会長

農地パトロールにおいて、例えば森林と一体化するなど再利用が困難との判断や所有者からも申し出があり、農業委員会で非農地としての要件を満たしたと判断された場合、非農地証明を発行している。

水田活用の直接支払交付金の見直しは、中山間の維持には当然懸念されるものであり、農地パトロールを一層強化し、集落の話し合いにフィードバックする取り組みを進めたい。

令和4年第1回臨時会

令和4年第1回臨時会は2月10日に開かれました。この臨時会では、令和3年度花巻市一般会計補正予算(第14号)および令和3年度花巻市一般会計補正予算(第15号)の専決処分、ならびに令和3年度花巻市一般会計補正予算(第16号)について審議し、いずれも原案のとおり承認、可決しました。

審議した議案	内 容	審議結果
令和3年度花巻市一般会計補正予算(第14号)の専決処分	市道の除雪業務委託料の追加に係る歳入歳出予算の補正 補正額 2億円増額 補正後予算額 558億4,228万1千円	承認
令和3年度花巻市一般会計補正予算(第15号)の専決処分	市道の除雪業務委託料の追加に係る歳入歳出予算の補正 補正額 2億円増額 補正後予算額 560億4,228万1千円	承認
令和3年度花巻市一般会計補正予算(第16号)	住民税非課税世帯等臨時特別給付金給付事業費など新型コロナウイルス対策の追加、小学校施設維持事業など国の補正予算対応等の追加に伴う歳入歳出予算の補正、繰越明許費の補正および地方債の補正 補正額20億7,840万1千円増額 補正後予算額581億2,068万2千円	可決

め、基本的には民間事業者への売却が譲渡処分を前提とし、さらに企業立地の可能性についても検討している。



跡地活用が検討されている大谷地アパート

校舎の大規模改修

Q 照井明子 議員

小中学校の校舎の老朽化が進んでいる。教育環境の改善のため、老朽校舎の計画的な大規模改修について伺う。

A 教育長

建築後40年以上経過した小学校は9校、中学校は3校ある。建築後40年以上の学校は小規模校で

農業問題

Q 阿部一男 議員

新市場開拓に向けた水田リノベーション事業について伺う。

A 市長

主食用米の需要減少に対し、需要拡大が期待される新市場開拓用米、野菜、麦、大豆を対象作物に、地域再生協議会が策定した産地・実需協働プランに参画する農業者が、各品目の低コスト生産に取り組んだ場合、10アール当たり4万円を交付する。農業者と集出荷業者が実需者と販売契約することが条件。当市要望の子実用トウモロコシも対象になった。

予算特別委員会

令和4年度 一般会計予算

予算特別委員会が設置され、3月9日から11日にわたって、令和4年度花巻市一般会計予算など6件の予算について審査を行いました。

令和4年度一般会計当初予算は、前年度当初予算比1.5%減(7億3396万円減)の481億6466万円となつていきます。

令和4年度予算は、市長選挙が行われたことから、扶助費や公債費等の義務的経費の計上を基本とした骨格予算として編成されています。ただし、市民生活に直結する福祉や教育施策等については骨格予算に盛り込んで編成しています。今後のまちづくりに向けた政策的な経費等は令和4年度早期に肉付予算として補正予算が計上される予定です。審査における主な質疑、答弁の内容は次のとおりです。

◎非核平和推進事業

【質問】 平和の尊さを感じる機会として新たな視点での平和学習会や平和教室等の開催が必要ではないか？

【答弁】 子どもたちに戦争のない平和な世界の実現の意識づけを目的とした事業であることから、より効果的に事業を進めたい。

◎市民参画・協働推進事業

【質問】 課題を把握し将来像を描くためのワークショップにはうまくコーディネートするファシリテーターが重要である。市民ファシリテーター養成などの取り組みの現状は？

【答弁】 現在、市民ファシリテーターは活動していない。

◎保育サービス向上支援事業

【質問】 障がい児保育事業補助金の内容は？

【答弁】 障がいのある児童を受け入れる保育施設または障がい児を受け入れて保育士を加配する保育施設に対し、運営費の補助を行う事業である。

◎高齢者福祉サービス基盤整備事業

【質問】 認知症高齢者グループホームの整備予定地は？

【答弁】 花巻地域内に整備予定であったが、法人の都合で実施できず、現在は未定となっている。

【質問】 認知症高齢者グループホームの施設数と休止している施設数およびその理由は？

【答弁】 拡充対象データの抽出や改修に伴う動作確認、県の国保システムとの連携など、少なくとも1年程度の準備期間が必要である。

【質問】 恋人の聖地の場所と事業内容は？

【答弁】 NPO法人地域活性化支援センターが行っている観光地域の広域連携を目的に行っている事業で、花巻市では花巻温泉と愛隣館が恋人の聖地サテライトとして認定されている。

◎小学生・中学生・高校生等の医療費助成

【質問】 医療費助成制度所得制限撤廃に向けたシステム改修業務のスケジュールは？

【答弁】 現在17施設あり、人材を確保できず休止している施設は1施設である。

◎母子保健事業

【質問】 3歳児健診の眼科屈折検査の拡充の内容は？

【答弁】 屈折検査の自動判定ができる機器を2台購入し、令和4年度から活用していく。

◎医療用補正具購入支援事業

【質問】 がん患者に対する医療用補正具の購入支援の内容は？

【答弁】 医療用ウィッグは令和3年度に補助上限額を2万円から3万円に引き上げ、令和4年度はこれに追加して乳房補正具も上限2万円として制度化し支援する。

【質問】 総合花巻病院の産科開設予定は？

【質問】 予約乗り合いバス体験試乗会の内容は？

【答弁】 免許返納予定者や普段車を運転しない方に乗り合いバスの制度や利用方法を説明し、参加者が電話予約を行い、スパー等の目的地で用事を済ませ帰宅する体験事業。利用登録者の増加と利用促進を目的としている。

◎福祉相談体制充実事業

【質問】 民生相談の件数が大幅に増えており、民生委員児童委員が対応していると思うが委員定数は確保されているか。大変な業務だが金銭面で厚く支援できないか？

【答弁】 委員の定数は246人で欠員はない。委員の報酬は年額7万9000円で県内では3番目。現在引き上げは考えていないが、県内の状況を見ながら検討したい。

◎新型コロナウイルスワクチン接種事業

【質問】 花巻市予防接種健康被害調査委員会の経費が計上されているが、委員会の体制と実施状況は？

【答弁】 新型コロナウイルスワクチン接種の副反応の審査で、中部保健所所長、医師会推薦の医師、県から推薦された医師で構成。市町村で審査し意見を付して県および国へ進達する流れとなっている。令和3年度は2件申請があり、そのうち必要書類が整った1件を審査し、県に進達を行うところである。

◎周産期医療確保対策事業

【質問】 総合花巻病院の産科開設予定は？

【答弁】 医師不足および産科スタッフの確保ができないことから、産科、小児科の開設は見込めない。



相談窓口は長寿福祉課に設置されます

◎骨髄ドナー支援事業

【質問】 申請者が多く予算を超えた場合はどうなるか。また、市民への周知はどうするか？

【答弁】 申請者が見込みを超えた場合、補正予算で対応することとし、市民への周知は広報やホームページで行う。また、県の補助金の関係もあることから、県と連携して周知していく。

◎中山間地域農業支援事業

【質問】 水田活用の直接支払交付金の見直しは、5年に1回の水張が必要とあるが、困難な箇所は非農地証明の発行を推進していくべきでは？

【答弁】 非農地判定の実績は令和2年度では41件となっており、今後も適正な農地確保の観点からも農地利用最適化推進委員や地域の方と協議しながら進めていく。

◎観光情報発信事業

【質問】 アフターDC特別企画推進事業の内容は？

【答弁】 JR東日本の観光キャンペーンに合わせ、宮沢賢治の手帳公開、童話村ライトアップ、八幡田んぼアートの実施、SL銀河をモチーフとした観光パンフレット作成等を予定している。

※アフターDC特別企画推進事業とは令和3年に開催された東北デスティネーションキャンペーン(DC)のコンテンツを活用した誘客並びに情報発信、受入環境整備



毎年好評を博している宮沢賢治童話村

◎小学校施設維持事業

【質問】 小学校施設維持事業の内容およびバリアフリー整備計画の内容は？

【答弁】 花巻小学校のストーブをFF式暖房に更新、矢沢小学校の給水管更新、笹間第一小学校の舗装整備、南城小学校の相撲場の撤去を予定している。また、桜台小学校はエレベーターおよびスロープを設置し、バリアフリー整備を進める。

◎先人顕彰推進事業

【質問】 偉人マンガ制作の内容は？

【答弁】 B & G財団が実施する事業を活用し、郷土の先人として花巻市出身で北海道帝国大学の初代総長を務めた佐藤昌介の生涯を偉人マンガとして制作し、小学校等での教材活用や図書館へ配置し、広く市民に偉人について知っていただくものである。

請願・陳情審査

3月定例会では、総務常任委員会が第12号陳情および第1号請願、文教福祉常任委員会が第11号請願、産業建設常任委員会が第2号請願の審査を行いました。審査の結果、第11号請願および第12号陳情は不採択、第1号請願および第2号請願は採択すべきものと決しました。

第11号請願(不採択)

ろうあ者に係る花巻市の関係規則及び要綱の改正を求めることについて

本請願は、令和3年12月10日、令和4年2月3日に審査し、引き続き調査を行う必要があるとの意見があったことから継続審査としました。

令和4年3月定例会の審査において、委員からは「手話スキルの高い人員が確保されるのが市民の福祉向上につながるのではないかと」といった意見が出された一方、「市内の手話通訳者が5人という状況では人員の確保が困難ではないか」との意見が出されました。請願項目ごとに採択した結果、賛成少数で不採択すべきとなりました。

第12号陳情(不採択)

花巻市職員の精神疾患による病気休暇(休職)数の増加の事実調査を求めることについて

本陳情は、令和3年12月10日、12月23日、令和4年2月18日に審査し、引き続き調査を行う必要があるとの意見があったことから継続審査としました。

令和4年3月定例会において、委員からは「精神疾患の原因は、仕事の適性、厳しすぎる指示や指導、同僚との人間関係、市民からの苦情対応等、原因が明確ではない」といった意見や「これは以上原因を突き止めることが難しい」と等の意見が出されました。

採択した結果、全会一致で不採択すべきとなりました。

第1号請願(採択)

選択的夫婦別姓制度について法制化を求めることについて

審査において、委員からは「日本が世界で男女平等またはジェンダー平等の指数が最低ランクにある。こうした状態を早く脱却する必要がある」と等の意見や、

第2号請願(採択)

令和4年度の水田活用の直接支払交付金の見直しについて

審査において、委員からは「5年間の猶予期間があるようにも受け取れるが、見直しに対し意思表示しなければこのまま進められてしまうのではないか」と等の意見や、「継続した支援でなければ農家の生産意欲が失われ、荒廃農地の拡大につながる」といった懸念がある」と等の意見が出されました。

採択した結果、全会一致で採択すべきとなりました。

定例会最終日の本会議で委員長報告を行い、採決を行った結果、それぞれ委員長報告のとおり決しました。

常任委員会等の活動報告

【総務常任委員会】

- ◇2月18日(金)
 - * 協議 「花巻市議会基本条例第13条及び第14条に基づく説明資料の作成を求める事業の選定について」
 - * 陳情審査 「花巻市職員の精神疾患による病気休暇(休職)数の増加の事実調査を求めることについて」
 - ▽審査結果…継続審査
 - ◇3月7日(月)
 - ▽審査結果…継続審査
 - * 請願審査 「選択的夫婦別姓制度について法制化を求めることについて」
 - ▽審査結果…採択
 - * 陳情審査 「花巻市職員の精神疾患による病気休暇(休職)数の増加の事実調査を求めることについて」

【文教福祉常任委員会】

- ◇2月3日(木)
 - * 請願審査 「ろうあ者に係る花巻市の関係規則及び要綱の改正を求めることについて」
 - ▽審査結果…継続審査
 - ◇2月18日(金)
 - * 協議 「花巻市議会基本条例第13条及び第14条に基づく説明資料の作成を求める事業の選定について」
 - ◇3月7日(月)
 - * 請願審査 「ろうあ者に係る花巻市の関係規則及び要綱の改正を求めることについて」
 - ▽審査結果…不採択
 - * 所管事務調査 「こども発達相談センターと保育施設の連携及び特定教育・保育施設に係る利用定員の設定について」
 - 「要保護児童対策地域協議会の機能について」

【産業建設常任委員会】

- ◇2月18日(金)
 - * 協議 「花巻市議会基本条例第13条及び第14条に基づく説明資料の作成を求める事業の選定について」
 - ◇3月8日(火)
 - * 請願審査 「令和4年度の水田活用の直接支払交付金の見直しについて」
 - ▽審査結果…採択
- ◇3月14日(月)
 - * 議会改革検討事項について

賛否が分かれた議案の審議結果

議案 21	令和4年度花巻市一般会計予算
議案 22	令和4年度花巻市国民健康保険特別会計予算
議案 23	令和4年度花巻市後期高齢者医療特別会計予算

会派名	市民クラブ			明 和 会			花巻クラブ			平和環境 市民クラブ		日本共産党花巻 市議会議員団		会派に所属 しない		審議結果										
	横田忍	佐藤現	伊藤盛幸	高橋修	瀬川義光	内館桂	鎌田幸也	佐藤盛樹	盛岡耕市	藤原伸	伊藤源康	羽山のみ子	佐藤明	本館憲一	近村晴男		照井省三	若柳良明	阿部一男	久保田彰孝	照井明子	櫻井肇	菅原ゆかり	藤井幸介	大原健	
議案 21	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	可決
議案 22	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	可決
議案 23	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	可決

○は賛成、●は反対。議長は表決に加わりません。



あべ ゆう 阿部 悠 さん
(花巻農業高校3年)

花巻市の未来へ ちょっと一言。



たかはし よしかず 高橋 喜和 さん
(大迫町亀ヶ森)

魅力ある花巻を農業で

私たちが住む花巻を安心して生活ができる魅力あるものにするためには、農業の推進が必要です。農業には、命を支える食料生産や自然環境の保全等の役目があり、また、田畑が広がる風景は美しく、私たちの心を癒してくれま

す。しかし、農業後継者の減少に伴い、農業への関心も薄れてきているように感じます。この問題を解決するために、農業の魅力を発信するとともに、人手をかけたスマート農業の導入と普及が急務であると思えます。将来の花巻を担う若者が農業への関心を高め実践できるように今後

もご支援をお願いいたします。

花巻産の食で観光客へPR

私は大迫でワイン用ぶどうを栽培し、自家醸造でワインをつくっています。花巻市の「ワイン・シードル特区」の制度で醸造設備などの導入や販路拡大に助成をいただいております。大変ありがたく思います。導入した設備のおかげでワインの品質も向上しています。現在花巻市内には6軒のワイナリーがあり、それ

ぞれが個性を生かしたワインづくりを行っています。花巻には品質の高い日本酒もあり、また全国でも評価の高い農産物をつくる生産者が多くいらっしゃいます。地元産の食材で花巻ならではの美味しさを味わえるようになると、花巻に訪れるきっかけになると思われます。

議会中継をスマホ・PCで視聴できます！

議会を傍聴に来られない方は、お持ちのスマートフォン、タブレットやパソコンからリアルタイム視聴ができるほか、録画配信もしています。

また、えふえむ花巻 FM One 78.7MHz では後日、録音した一般質問の音声を放送しています。

議会傍聴にぜひお越しを！

【3月定例会】

本会議の傍聴に訪れた方の延べ人数 33人

【6月定例会】

6月10日(金)開会

詳しい日程は、議会事務局までお問い合わせいただくか市議会のホームページをご覧ください。

議会事務局 0198-41-3598(直通)

編集後記

2月24日、ロシアはウクライナへ軍事侵攻し、多くの尊い命を奪うなど許されない暴挙を行った▼花巻市議会は、この軍事侵攻に断固抗議し、軍の即時撤退を求める決議を3月4日、全会一致で可決した▼世界中から軍事侵攻を非難する声が沸き起こっている中、為政者が聴く耳を持たず、住民に正しい情報を伝えず、報道の自由を奪う行為は、人類を不幸へと導く▼議会には行政をチェックし、民意の反映に努めるなどの役割が課せられている。今回のロシアの暴挙を見るにつけ、議会が果たすべき役割と責任を改めて自覚したい。(伊藤盛幸)

【広報広聴特別委員会】

- 委員長 瀬川 義光
- 副委員長 藤井 幸介
- 委員 久保田 彰孝
- 委員 羽山 るみ子
- 委員 佐藤 峰樹
- 委員 佐藤 現
- 委員 伊藤 盛幸
- 委員 若柳 良明
- 委員 盛岡 耕市